

うらそい歴史新聞



第13号
平成26年
8月

うらそえの考古資料展 ・城間古墓群・開催中

現在、浦添グスク・ようどれ館では、9月30日まで「うらそえの考古資料展」を開催しています。

城間古墓群は、市内の米軍基地キャンプキンザー内にある旧城間集落の古墓群です。墓は岩陰を利用したり、岩を削ったり、石を積んで造られていました。沖縄ではジーシガミ（厨子甕）と呼ばれる、那覇の壺屋で作られた骨壺、亡くなった人をお墓に葬る時に一諸にいったキセル（タバコを吸う道具）、徳利、おちよこなどが発掘調査で出てきました。ジーシガミ（厨子甕）には銘書が書かれており、亡くなった人の名前や、年齢、土地の利用図などから、米軍基地ができた時に移された城間集落の人々のお墓ではないだろうかということがわかりました。

また古墓群A地区9号墓ではお墓が仕立てられる前の地層が発見され、そ



城間古墓群出土のヒスイ製品
アクセサリ（ペンダント）だと考えられています。ヒスイは沖縄では採れない石です。なぜ遺跡から出てきたのか？謎解きは続きそうです。



『うらそえの考古資料展～城間古墓群～』の展示会場
爪形文土器や宮古式土器の骨壺など珍しい遺物も展示していますので、ぜひ足をお運びください！

ここからは7000年前に作られた土器も発掘されました。今回は発掘されたヒスイ製品、貝のブレスレットも展示しています。沖縄では採れないヒスイがどうして遺跡から出てきたのか。この機会に、ぜひ実物をみながら会場で一緒に考えてみませんか。（粟森弘政）

浦添グスクなどの展示 が浦添大公園南エントランスにできました！

8月から浦添大公園南エントランス多目的室に浦添グスクや市内文化財を紹介する展示コーナーができました。

浦添グスクの模型、高麗系瓦復元模型、市内文化財の写真マップや解説パネルを展示中です。会館時間などはようどれ館と同じです（下記）。入場無料で、うらそい歴史ガイドが解説しますので、ぜひお越し下さい！



浦添城跡（浦添グスク）
中山の王城である国指定史跡・浦添城跡では復元整備が進められています。浦添グスクの往時の姿（推定）が模型で再現されています。



高麗系瓦（こうらいけいがわら）
グスクの発掘調査では、多量の高麗系瓦が出土しています。瓦葺き屋根を復元した模型が展示されています。さわることができます。

浦添グスク・ようどれ館

【開館時間】
午前9時～午後5時

【入館料】

大人（高校生以上） 100円

小人（小中学生） 50円

※市内小・中学生は無料

【休館日】

月曜日・12月28日・1月3日

【住所】〒901-2103

沖縄県浦添市仲間2-53-1

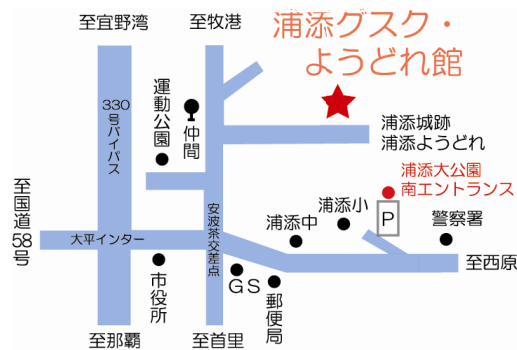
【電話】098-874-9345

【アクセス】

琉球バス交通 牧港線（55番）

仲間バス停から徒歩5分

※浦添グスク・ようどれ館を中心に浦添の史跡・文化財の案内を致します（有料）。時間・コースも相談できます。お気軽にお問い合わせください。



※仲間バス停から徒歩5分